

年金者 しんぶん

全日本年金者組合
神奈川県本部
〒231-0025 横浜市中区松影町2-7-12飯田ビル
TEL:045-663-4061 FAX:045-663-4062
メール:nenkinkanagawa@nifty.com

7月2日現勢 組合員 10,601人
機関紙 6,526部
年金切り下げ阻止2013年度版署名 13,426筆

医療・介護 高齢者に負担ブツシリ

年金者組合 自民・公明に抗議電

「医療・介護総合法」を強行可決した自民・公明両党の県本部に抗議電報を打ちました。

請求 運動協力者多く加入

県内の組合員1万598人

「春の仲間増やし」月 346人が加入、185人が退会、純増161人。合員は1万598人となりました。11支部が目標準達しました。3カ月間で、成り港北、横浜西、中、横

社会保障を目的にする安倍政権 20万個人請願署名始まる



相模原西支部の支給日宣伝(6月13日)



神奈川県 論戦リード 第31回中央委員会開く

第31回中央委員会は、6月16〜17日東京で開催されました。12万6千の行政不服審査請求を成功させた確信に満ち、年金

街頭加入が続出

年金減額支給の6月宣伝

年金の実額0.9%も減額されて支給された6月13日、年金者組合はいつせいに全県37カ所で、「支給日宣伝」をおこないました。相模原西支部では7人で署名22筆、「やりやすくなつた」と話しています。秦野支部では駅前

「最優秀賞」本紙が受賞

全国機関紙「コンクール」

支部、女性の会上位独占

年金者組合「全国機関紙コンクール」で本誌(年金者しんぶん神奈川県版)が都道府県の部で「最優秀

賞」を受賞しました。支部、女性の会部門では、優秀賞に平塚、入賞に旭、努力賞に多摩、港南の各支部が上位を独占受賞しました。

支部の部では、泉支部が惜しくも最優秀賞を逃したものの、優秀賞に、泉、平塚、相模原相模の3支部、努力賞に金沢、三浦の2支部、女性の部では、優秀賞に平塚、入賞に旭、努力賞に多摩、港南の各支部が上位を独占受賞しました。

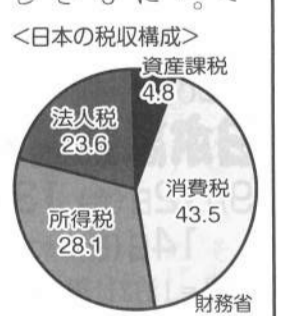


新役員。左から3人目が津田新支部長、5人目有賀慶介新書記長

の組合員数となりました。今回、審査請求運動で協力してくれた方々がたくさん加入しました。反面、「期待感」「楽観論」が出たり、また、審査請求の「決定通知書」が届いてからの「お礼訪問活動」となったりして、「受動的」行動が、期間限定の月間の動きを鈍くしました。

税金ゼロのトヨタ

「特ダネ」年金になっても



「税金ゼロのトヨタ」2兆円も利益上げる大企業。社長みずから話しました。カラクリは大企業のた



12回目港北 街の一揆

港北支部の「大曾根・樽・大倉山年金者一揆」が、5月28日で12回目となり、田中久雄さんが「年金下げのをやめるまで続ける」と宣言しました。

「気負いない」 退路なき決断

500人を超える県下で大きな厚木支部に女性の津田史子支部長が誕生しました。話を聞きまし

聞き手、杉沢隆宣。厚木支部は県本部結成

年金相談室 ☎ 045-663-4061

毎月第2火曜日 午後1時から4時 横浜市中区松影町 2-7-12 飯田ビル 2F
ご利用のみなさんへ：◆あらかじめ電話をいただければ幸いです。



箱根七湯を訪ねて 題字 茅ヶ崎支部 藤田香代子 ▶4◀

あじさいのように家庭的な大平台温泉 急峻な塔乃沢と宮ノ下



箱根駅伝

江戸時代は「箱根細工」を作る木工の里として栄え、温泉が引かれたのは昭和26年(1951)の共同湯

「姫之湯」からで、住民の憩いの場としてスタートした温泉で、家庭的な雰囲気を感じていきます。

箱根発展の先駆的温泉「宮ノ下温泉」 宮ノ下の地名は、熊野神社のお宮の下に開けたことに由来します。



写真は上下ともネットから

代の応永五年(1398)です。江戸時代には、大名の奥方や豪商などが訪れ、内湯と滝湯(打たせ湯)による湯治を続けました。

駅前バスロータリーに 泉年金者の会 ベンチ設置“助かります”

バス会社・区に署名出す

3月31日、「緑園都市駅前バスロータリーにベンチを設置しました」と神奈交バス舞岡営業所から電話がありました。写真



駅前の2カ所のバス停にはベンチがないため、利用者は花壇の緑石やショッピング広場のベンチ、タクシー乗り場のイスなどに腰を下ろしてバス待ちをしていました。

前向きに奮闘8カ月

相模原北糸島スミ子新支部長

(相模原北支部 支部結成から8カ月、糸島スミ子さんに語ってもらいました)

新連載●介護する仲間を紹介してください

介護をする仲間を訪ねて

▶2◀

「いらっしやい」

にこやかに迎えてくれた菅井春子さん。介護で苦労されている様子は微塵も感じさせない明るさ。しかし、その腕は、介護中に痛めてしまい、三角巾で吊っている痛々しい姿でした。

夫の和雄さんは介護度2で85歳、12年前胃

癌の手術。3年前からは、動脈瘤破裂防止の手術、膀胱癌の手術、

圧迫骨折、脳内出血、の悪化などで何回も入

り込みも回収の手だてがうまくできず、最終的に21%の提出でした。これは大変と、役員会で「仲間増やし」の手だてを考え、チラシ2000枚を配るなど大きく動き

ました。

(春の仲間増やし月間がんばりま

したね)

退会者を挽回しました。これから、和やかな雰囲気

の役員会や、2、3か月に1回の誕生会、女性の会の立ち上げなど会員の要求を大切に、前向きな話し合いをして行きたいと思

います。

聞き手は、田中文子。



夫のユーモアにも助けられて

の年金者組合は、早く作った。返りは少し遅かったが、横須賀も早かったが」との繰り返しでした。

で倒れるなど思わぬハプニング等。それでも春子さんが、めげずに明るくしていられるのは、尿もれのときなど、歌でそらす和雄さんのユーモアや、昔からの協力関係を保って

きた2人の信頼、同じ団地にいる年金者組合の仲間が、常に協力してくれること、通院時の運転、見守り、おかげの差し入れも度々。そして、趣味の写真をはじめて、朗読、カラオケ、郡上踊り等サークルへの参加でした。

お子さんや、お孫さんの励ましも心の支えになっていきます。

今年5月の入院時、お2人の55回目の結婚記念日で、春子さんが2人の思い出の写真を花の写真などを飾り、病室でお祝いをした話に心が和み、大船フラワースセンターのそばのお宅をあとにしました。

(山内寿代)

介護する仲間を紹介してください

現在、訪問看護と訪問介護をそれぞれ週1回づつ受けて、月3回の通院をしている状況です。

和雄さんは、鎌倉の年金者組合を立ち上げた一人で、話を聞いて

いる2時間ぐらいの間に、10回以上「今日は年金者の訪問? 鎌倉

さあ、これからという時に、今まで団地地域を東ねていた幹事が病氣入院し、周辺の会員も一挙に退会という大変な状況になりました。

「不服審査請求」の取

り組みも回収の手だてがうまくできず、最終的に21%の提出でした。これは大変と、役員会で「仲間増やし」の手だてを考え、チラシ2000枚を配るなど大きく動き

ました。

(春の仲間増やし月間

がんばりま

したね)

退会者を挽回しました。これから、和やかな雰囲気

の役員会や、2、3か月に1回の誕生会、女性の会の立ち上げなど会員の要求を大切に、前向きな話し合いをして行きたいと思

います。

聞き手は、田中文子。

接種の補助 3000円

横浜市協 球菌ワクチンで対市交渉

横浜市協 義朗議長は6月18日、「肺炎球菌ワクチン」問題で、横浜市健康安

全課と懇談しました。市の話では、高齢者の窓口負担を3千円程度に考えているようです。ワクチン予防接種の一部費用助成を年金者組合も要望してきました。写真

住まいる net 年金者組合と 神奈川県建設労連の提携事業

いやな臭いしませんか? エアコンクリーニングで気持ち良い夏を過ごしましょう! エアコンクリーニング 1台/10,000円(税抜) 2台目~: 8,000円(税抜) ※お掃除機能付きは+5,000円

【対応メニュー】新築、リフォーム、屋根、塗装、内装、造園、外構、白あり駆除、畳、内装、設備、ハウスクリーニング、バリアフリーなど

フリーダイヤル 0120-88-5593

〒221-0045 横浜市神奈川区神奈川2-19-3 建設プラザかながわ4F TEL 045-534-9961 FAX 045-534-9962 メール info@smile-coop.jp

今だから話せる ほんま話



▶11◀

戦争が終わった直後の中国人ごみでこったがえす満鉄寧安駅で小さな弟を背負っていたお母さんとはぐれてしまいました。当時5歳でした。

「駅では大勢の子どもたちが泣き叫んでいました。この光景は70年たった今でも映画の一場面みたいにはつきりと覚えています」

「駅で泣いている私を救ってくれたのが、韓国人の養母、



手ぶり身ぶりで話す笠松恵子さん(自宅にて)

「だから勉強、ほんとに頑張ったよ。何でも死にもの狂い。一生懸命にやったよ」

「私には大きな目標があったの」
それは中国に残っている家族9人を日本に呼び寄せること。それには貯金が100万

中国残留孤児

金沢支部 笠松 恵子さん (73歳)



平成21年家族全員で 中央養母、その左笠松さん

曹福珍さんでした」
養父の辛成茂さんはお母さんが笠松さんの肩に貼り

私は日本人 故郷の土で死にたい

寒い中パンツ姿で外に

つけてくれていた名札から1940年7月17日生まれ、「辛恵淑」として戸籍に入れ

小学校を最優等生で卒業、うたや踊りも優秀な成績で、中国では32年間小学校の先生として働き、結婚もして3人の子どもと3人の孫に恵まれ、幸せな暮らしてました。(文化大革命では苦労しました)

円以上ないと許可できないと厚生省はいうのです。「生活費をきりつめて貯金を貯めることに全力をつきました」
春に海であさりを捕って中身を冷凍して冬まで食べたり、パン屋で古いパンをもらってきたり、今だからいえるけど、横浜・南部市場の野菜捨て場から痛みかけた野菜をそっと持って帰ったり。「1年くらいで150万円貯め入国管理局から帰国許可を受けたときはほんとにうれしかった」

本当の父母に会いたい

子どもたちは生まれた時から中国で育っている。日本に來ることに反対はなかった？
「日本は世界で一番治安がいい街並みもきれいで、生活の水準も高いと聞いているから喜んでいたら」
1997年子どもたち夫婦と孫3人の計9人が日本に帰国。当初はこの150万円を子供たちの生活費に使った。「今は自立した子どもたちに囲まれ幸せです。年金者組合には共同墓所があるから入ったが、餃子大会や太極拳を教えたり、歌をうたったり、パソコンも使えるようになり、毎日が楽しい。あとは、出来れば死ぬ前に本当の父母に会いたい、これが最大の望みです」(大蔵敦子)

訂正：5月号「今だから話せる」の文中、「内浦」は「内原」の誤りで、訂正してお詫びします。

神奈川 年金者文芸

(俳句)

暁の眠りを醒すほととぎす

返葉支部 長谷川幸生

雨の日にそら豆を剥く一人かな

返葉支部 長谷川紀美子

幌つけて何を守るかくまがい草

返葉支部 根岸こうこ

苦瓜の蔓先しづかならざらし

返葉支部 四海 良道

堂狩しっかりと手を離さず

返葉支部 熊谷 直子

方言の顔に戻りし帰省かな

愛川支部 角谷 朝生

夏薊しかと掴みて切鉄

愛川支部 白井 信子

お洒落好き叔母の形見の夏帽子

愛川支部 森田 京子

雨上がり艶やかさ増す七変化

愛川支部 萩田美智子

中津川水面すれすれ夏つばめ

愛川支部 村井 庄三

暗闇や耳のあたりの蚊の羽音

平塚支部 坪井 絵恭

旅に寝て山の音さく青葉寒

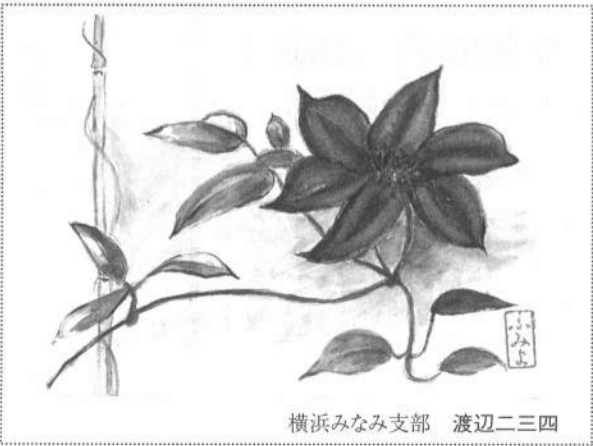
平塚支部 寺田 公明

紫陽花の此の坂幾重古希去りし

川崎みなみ支部 鏡 幸一



横浜みなみ支部 田中 政子



横浜みなみ支部 渡辺二三四

ラムネ玉振ればカラコ口遠い夏

緑支部 吉田 一夫

(川柳)

亀さんの意気びんぴんと不屈館

愛川支部 青井 功

認知症初め本人あと家族

愛川支部 八木 静枝

維新の会維新もせずに消滅へ

愛川支部 田辺 弘己

幕揚げて大見栄を切る消費税

泰野支部 雄一郎

汚染水海に流して事故と言ひ

泰野支部 義 雄

孫就活ジジババ終活ママ生活

旭支部 毛利やすひこ